

事業報告

令和4年度 学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業
「杵築市とのプログラム協同実施」

日時：令和4年11月26日（土）

会場：杵築中央公民館（きつき生涯学習館） 参加者：10名（2市） 小学生：36名

<研修趣旨>

「おおいたを知る・おおいたを学ぶ・おおいたを体験する」ことのできる小学生向けの各種体験プログラムを多様な経験や技能をもつ外部団体と連携して開発・実施し、併せて市町村へのプログラムの紹介・普及を図る。

<研修内容>

【第1部】▼「お花に思いを込めて ハーバリウム制作体験」プログラム見学

協力団体：ハーバリウム制作体験 日出総合高校

今回のプログラムは、地元との連携・交流活動に積極的に取り組んでいる日出総合高校の協力を得て体験活動を開催した。体験活動を指導してくれた日出総合高校では、事前にハーバリウムを試作し、小学生への指導・助言等の計画を検討・準備をしていただき、当日は、学年ごとの班に高校生が1人ずつ補助についた。各高校生が粘り強く、優しく小学生に接して、小学生は楽しく作品作りに取り組むことができた。



【開会行事】講師紹介



【会開業時】小学生を支援してくれる
日出総合高校生徒紹介



【第1部】「アイスブレイク」



【第1部】「ハーバリウム制作」
瓶に入れる材料選び



【第1部】「ハニーバリウム制作」
上手に瓶に入れられるかな。



【第1部】「ハニーバリウム制作」
この花をここに置いて・・・

【第2部】▼協力団体との協議・意見交換

日出総合高校から今回実施したプログラム及びその他実施可能なプログラムについて説明していただいた。その後、質疑・意見交換を行い、短い時間であったが有意義な協議となった。特に2名の高校生が参加して地域貢献への意欲を伝えてくれ、地域の社会教育関係者との意見交換を通して、地域の公民館との連携を深める場となった。



【第2部】参加者と協力団体との協議



<参加者感想>

- 初めて作りましたがやはり簡単ではありませんでした。ですが、高校生のおかげでイメージ通りのものができました。とても楽しい体験ができました。(小学校6年生)
- テーマづくり、草花の配置など分かりやすく指導していただきよい作品ができた。
- イメージを作りから制作するのはよかった。自己紹介等コミュニケーションもできた。
- 参加者みな集中できていた。指導していただいた高校生も優しく、手際よく楽しそうにしていたので、とてもよい交流になったと思います。
- 作品を互いに評価し合うことはよいところを発見できよいことだと思いました。
- 制作に時間がかかり、鑑賞する時間が十分に取れなかった気がします。